



定期散布を徹底し、高品質な柿を生産しましょう！

昨年より 12 日程遅く生育が進んでいます。(昨年は 2 月～3 月の気温が高かったため、例年より 1 週間～10 日程、生育が早かった。) 4/26 現在の柿の生育は平年並み～やや早い見込みです。病害虫の防除は予防を意識し、早めの散布を実施しましょう。また、5 月に入り高温が続くとカイガラムシの早期発生が予想されます。カイガラムシが多発すると原料柿に悪影響を及ぼすため、発生園では必ず防除を実施しましょう。

病害虫防除

中野市管内：発芽日 4/10

(昨年比+12 日)

◎5月上旬(5月10日頃まで)の薬剤散布

●収穫前や収穫中の作物に飛散しないよう、十分注意する。

| | | | |
|-------|---|----------|-------------|
| 散布薬剤 | 水 | 100 ㍓あたり | 散布日 5 月 日 |
| | 展着剤 | 10ml | |
| 劇 | サムコルフロアブル 10 | 20ml | 前日、3 回以内 |
| | ダイアジノン水和剤 34 | 100g | 45 日前、4 回以内 |
| 対象病害虫 | ハマキムシ類、オオワタコナカイガラムシ、カキノヒメヨコバイ、カキノヘタムシガ、ケムシ類、ハスモンヨトウ | | |
| 散布量 | 10a 当り 400㍓ *若木の場合、樹体に十分かかる量を散布する。 | | |

《注意事項》

- ① ダイアジノン水和剤 34 は、劇物登録薬剤のため購入の際は印鑑をお持ちください。
- ② 訪花昆虫保護のため、薬剤散布は早朝(午前6時頃まで)に実施する。
- ③ 主幹害虫の発生が見られる場合は、ガットサイドSの1.5倍液(45日前、2回)を主幹部・主枝及び垂主枝の分岐部に塗布または散布する。
- ④ スプラサイド水和剤(1,500倍、30日前、3回)の農家在庫がある場合は、ダイアジノン水和剤 34 に代えて使用しても良い。

防除の際は必ず栽培日誌に記帳しましょう